

関東地質調査業協会 創立60周年祝う

「先輩のわだちを太く、大きく」



来賓あいさつに立った国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課の木村実課長は「市民が見るこ

とのできない地質調査は、国民生活の安全性、経済性を考える上で、かけがえない基礎データ

関東地質調査業協会（五十嵐勝会長）は10日、創立60周年記念式典と同祝賀会を都内で開いた。式典には会員企業の代表者や来賓など約200人が出席。地質調査業の新たな展開に向けて会員が一致団結しつつ、相互に切磋琢磨（せつそたくま）していくことを誓った。

五十嵐会長「写真」は「大きな悲しみと甚大な被害をもたらした東日本大震災の発生を見て、この国はようやく国土強靱（きょうじん）化に向けた歩みを始めた。世界的にも特殊で、非常に脆弱（ぜいじやく）な地盤構造を持つこの国には、高度な能力を持った地質調査業が必要だ」と指摘。

「地盤と語り合える地質調査業を目指し、先輩たちが通ったわだちを、さらに、太く、大きくしていこう」と呼び掛けた。